

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【公開番号】特開2002-245672(P2002-245672A)

【公開日】平成14年8月30日(2002.8.30)

【出願番号】特願2001-366638(P2001-366638)

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 7/24

C 0 8 F 2/00

C 0 8 F 2/44

C 0 8 F 283/12

C 0 8 F 292/00

// C 0 8 F 290/06

C 0 8 F 299/02

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 3 5 K

G 1 1 B 7/24 5 3 4 C

G 1 1 B 7/24 5 3 4 D

G 1 1 B 7/24 5 3 4 F

G 1 1 B 7/24 5 3 5 A

G 1 1 B 7/24 5 3 5 C

G 1 1 B 7/24 5 3 5 G

C 0 8 F 2/00 C

C 0 8 F 2/44 A

C 0 8 F 2/44 C

C 0 8 F 283/12

C 0 8 F 292/00

C 0 8 F 290/06

C 0 8 F 299/02

【手続補正書】

【提出日】平成15年6月19日(2003.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項4

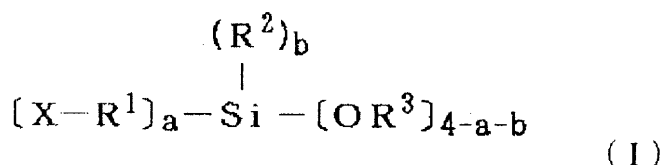
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

加水分解生成物(d 2)が、下記一般式(I)

【化 1】



(式中、Xはメタクリロイルオキシ基、アクリロイルオキシ基、スチリル基またはビニル基を、 R^1 は直接結合もしくは炭素数1～8の直鎖型または分岐型アルキル基を、 R^2 、 R^3 は炭素数1～8の直鎖型または分岐型アルキル基を、aは1～3の正の整数を、bは0～2の正の整数を示し、 $a+b$ は1～3の正の整数である。)

で示される単量体を加水分解して得たシラノール化合物である、請求項1記載の光ディスク。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

ウレタン(メタ)アクリレート化合物(A)が、下記(a1)～(a4)成分を反応させて得られる化合物である、請求項1または2記載の光ディスク。

(a1)分子内に1個以上のアミド基、および少なくとも2個のNCO反応性ヒドロキシ基を有するアミドヒドロキシ化合物

(a2)ポリエーテルジオール、ポリエステルジオール、およびポリカーボネートジオールから選ばれる少なくとも1種のジオール化合物

(a3)有機ジイソシアネート化合物

(a4)分子中に1個以上の(メタ)アクリロイルオキシ基、および1個のNCO反応性ヒドロキシ基を有するヒドロキシ基含有(メタ)アクリル酸エステル

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0089】

次いで行われる縮合反応は、以下の如く行えばよい。

具体的には、前記1の方法で得られた(d2)成分存在下、前記2の方法ではここで(d2)成分を加えて、まず、コロイダルシリカ微粒子(d1)中の分散媒と縮合反応で生じる水を常圧または減圧下で60～100、好ましくは70～90の温度で共沸留出させ、固形分濃度を50～90質量%とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0160

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0160】

このようにして合成例1～8で得られた化合物を使用して、以下実施例を行った。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0163

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0163】

(3) 評価用光ディスクの作製および評価

帝人化成(株)製パンライトAD9000TG(ポリカーボネート樹脂)を射出成型して得た光ディスク形状を有する透明円盤状基板(直径12cm、板厚1.1mm、反り角0度)に、前記保護層形成用組成物をスピンドーターを用いて、平均膜厚98 μ mとなるように塗装し、ランプ高さ10cmの高圧水銀灯(120W/cm)により、積算光量1000mJ/cm²のエネルギー量で硬化させて、保護層を有する透明円盤を得た。

さらにその保護層上に前記ハードコート層形成用組成物をスピンドーターを用いて平均膜厚2 μ mとなるように塗装し、室温で1分間放置して組成物中に含有されるメトキシプロパノールを揮発させた後、ランプ高さ10cmの高圧水銀灯(120W/cm)により、積算光量1000mJ/cm²のエネルギー量で硬化させて、保護層およびハードコート層を有する透明円盤を得た。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0168

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0168】

得られた光ディスクのアルミ合金反射膜上に、前記保護層形成用組成物をスピンドーターで平均膜厚98 μ mとなるように塗装し、ランプ高さ10cmの高圧水銀灯(120W/cm)により、積算光量1000mJ/cm²のエネルギー量で硬化させて、保護層を有する光ディスクを得た。

さらにその保護層上に前記ハードコート層形成用組成物をスピンドーターを用いて平均膜厚2 μ mとなるように塗装し、室温で1分間放置して組成物中に含有されるメトキシプロパノールを揮発させた後、ランプ高さ10cmの高圧水銀灯(120W/cm)により、積算光量1000mJ/cm²のエネルギー量で硬化させて、記録層、保護層およびハードコート層を有する光ディスクを得た。